

「第7回 土木設計関係技術発表会」 発表概要書

| | | |
|-------------|-----------------|------------------------|
| 発表内容 | 事例名(業務名) | 五月が丘地区(6・7号堰堤)外用地調査等業務 |
| | 業務発注者名 | 中国地方整備局 広島西部山系砂防事務所 |
| 発表者 | 所属協会名 | 広島県測量設計業協会 |
| | 所属会社 | 相生エンジニアリング株式会社 |
| | 発表者名 | 仁田 貴久 |

発表事例の概要

<図表も含め1000字(40字×25行)程度以内>

①業務の内容、技術的特徴

(業務内容)

本業務は、広島西部山系直轄砂防事業(広島市佐伯区五月が丘地区外)に必要な用地測量及び用地調査等を行ったものである。

(技術的特徴)

平成30年7月の豪雨災害が発生した後は、直轄砂防災害関連緊急事業に指定された被災地である安芸郡坂町(3溪流)と呉市天応地区(5溪流)において、砂防堰堤工事と工事用道路の用地取得・使用に必要な作業を主として行った。



②表彰に至る高評価の要因等

災害発生後は、副所長をはじめ事務所職員のみなさま1日も早い復興のため休みなく夜遅くまで職務を果たされておられました。工事完成予定までの厳しいスケジュールの中、発注者が地元と用地交渉を確実に実施できるよう、連携して迅速かつ的確に粘り強く作業を行ったことが評価されたものと感じている。

③業務遂行上、苦労した点や工夫した点

(通常業務)

事業用地は概ね山林であり、ほとんどの関係者が代変わりして自身の土地がどこにあるか不明とのことであったため、事前に公図の形状を現地に復元して、境界立会を行った。

(災害業務)

被災現場は堆積した土砂や倒木により土地の境界線は不明となり、関係者との現地立会は危険を伴い実施できなかったため、国土調査実施区域以外の箇所は、机上での当込み作業で境界決めをした。人様の財産を特定する重要な作業であるため、現地を歩き、実測平面図や国土院の航空写真を参考にしながら慎重に作業を行った。

(工程報告)

通常業務に加え災害業務と作業箇所が多岐にわたるため、スケジュール管理表を作成して毎回打合せ時に進捗状況を報告した。

* 概要書記載上の留意事項

- ①業務の内容、技術的特徴等を簡潔に記載
- ②表彰に至る高評価の要因等を簡潔に記載
- ③業務遂行上、苦労した点や工夫した点等を簡潔に記載

* 発表資料作成上の留意事項

- ①パワーポイントにて25枚程度以内に簡潔にまとめる
- ②上記概要書記載事項の留意点に示した、①～③の事項に留意して作成